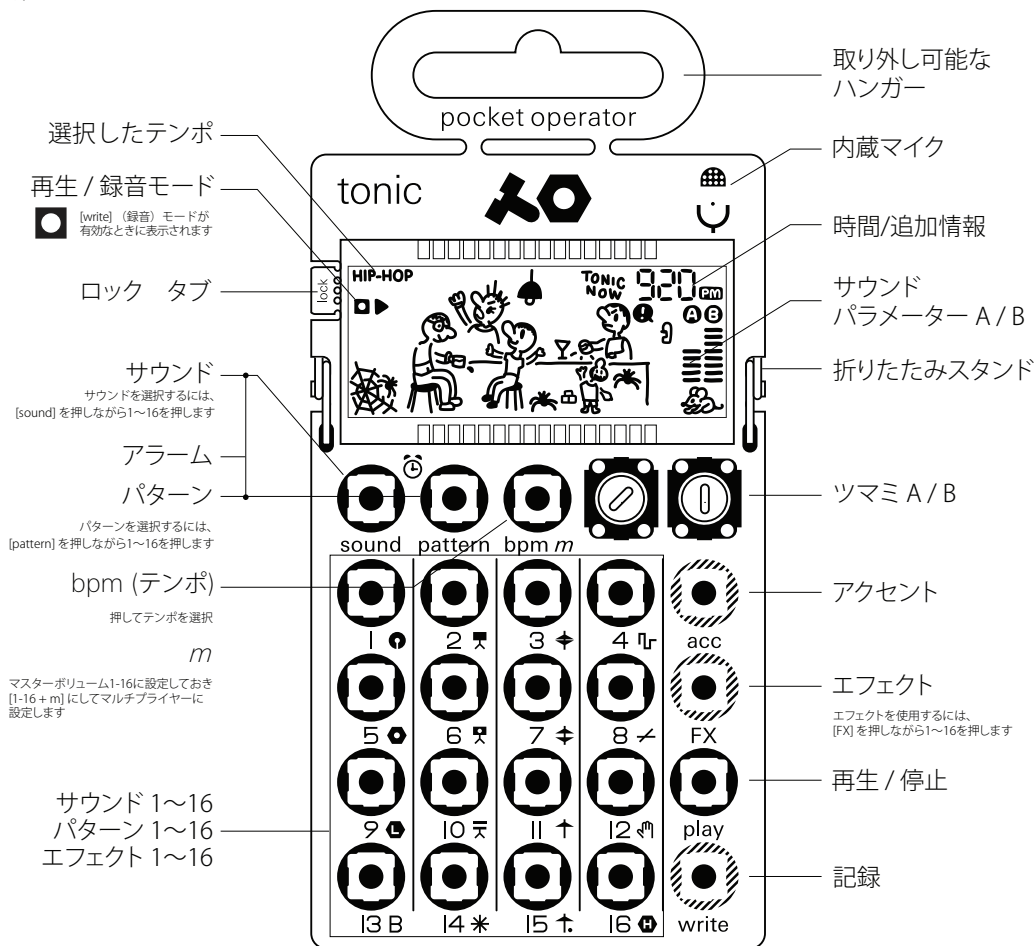


PO-32 トニック

ユーザーガイド

[jp]



自動電源オフ (a.p.o)

どのボタンも押していない場合は時間が表示されるのみで自動的に電源オフになります。

[sound] と [bpm] を押すと、電池残量を確認できます。

ロックタブ

ロックタブを一緒にするために逆進させたり、2つのタブをハンダ付けしたり、ロック設定をリストアしたり、電池を取り外したりするためにはすべてのパターンをフリーズロックタブを切ってください。

サウンド 1~16

- キック1
- スネアー1
- シェカー / ザップ
- LFO エフェクト
- キック2
- スネアー 2
- クローズ / オーペン・ハイハット
- キー / カウベル

- ロートム / キック3
- リム・ショット/スネアドラム3
- タン布林/ノイズクラッシュ
- ハンドクラップ
- ベース
- fm スネアー
- シンバル
- ハイトム

エフェクト 1~16

- ハーフレート
- ディストーション
- スクォッシュ
- エコー・フェイド
- LFOのピッチ
- EQ スweep
- メガ・モーフィング
- ピッチ・ベンドUP

- パンチ
- 6/8クオンタイズ(量子化)
- ビート・リビート(復唱)
- ビート・リビートを速める
- FM
- グラニューラー
- リバーブ
- パウンシング・ボール

PO-32 トニック

ユーザーガイド [jp]

1. 使ってみましょう

電源を入れる

新しい単4乾電池を2本入れます。プラスとマイナスの電極にご注意ください。

時刻設定

ツマミAを回して時間単位、ツマミBを回して分単位で時刻設定を行います。いずれかのキーを押して確定し、終了します。

アラーム時計

[sound] と [pattern] を押します。ツマミAで時間単位、ツマミBで分単位のアラーム時刻を設定します。(アラームを解除するには、ツマミAを一番下まで回します。)1~16のいずれかのキーを押してアラームのパターンを設定します。

時刻のリセット

時刻設定をリセットするには、一度電池を抜いて入れ直し、初めからやり直します。

2. 再生

パターンの選択

[pattern] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押してパターンを選択します。選択中のパターンに該当するLEDが点滅します。

playキー

[play] を押して再生を開始します。もう一度[play] を押して再生を停止します。

シーケンサー

1つのパターンは16ステップで構成されます。

3. ビートを作る

サウンドの選択

[sound] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押してサウンドを選択します。

作成

[rec]のシンボルが画面に出ているか確かめてから[rec]モードで[enter/exit]にして[write]を押します。グリッドの[sound/notes]にエンターすると[active step]が灯されます。[play]を押してあなたの[pattern]お聞かせください。

4. サウンドの調整

エフェクトの追加

演奏中、エフェクトをもっと増進させたい場合は、[FX]を握って[1-16]のどのキーでもいいですので押してエフェクトを録音してください。

最初に[write]ボタンで[rec]モードにエンターします([rec]シンボルが灯されているか確認してください)エフェクトをクリアにするためどのボタンも押さないで[rec]モードで[FX]を押し続けれます。

1. ハーフレート

2. ディストーション

3. スクオッシュ

4. エコー・フェイド

5. LFOのピッチ

6. EQスイープ

7. メガ・モーフィング

8. ピッチ・ベンドUP

9. パンチ

10. 6/8クオンタイズ(量子化)

11. ビート・リビート(復唱)

12. ビート・リビートを速める

13. FM

14. グラニュラー

15. リバース

16. バウンスシング・ボール

パラメーターのロック

[write]のサウンドパラメーターが変るまで[write]のつまみを回しながら押し続けるか、[write]モードにした場合個々のステップを押し続けて、パラメーター調整のためにツマミ回してください。

アクセント

ビートにアクセント付けたい(強調する)場合には[play]モードで[acc+]の1-16を押します。

[rec]モードの時、強調ステップをプログラミングするには[acc+]の1-16を押します。ト

5. スイング

[bpm] を押しながらツマミAを回してスイングを調節します。

6. テンポ

[bpm] を押して、テンポを変更します。ディスプレイの右上隅にテンポが表示されます。

HIP HOP (80 bpm)

DISCO (120 bpm)

TECHNO (140 bpm)

テンポを微調整するには、[bpm] を押しながらツマミBを回します (60~240 bpm)。

7. 音量

マスターボリュームを設定するには、[bpm] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押します。

8. ライブ録音

再生中に[write] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押して音符を打ち込みます。入力した音符はスイング設定に応じたクオンタイズされます。パンチчин操作が完了したら、[write] を放します。

9. ステップ・マルチプレイヤー

[bpm] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押し続けると、そのステップに繰り返して入力されます。[bpm] を複数回押すと、1、2、3、4、6、8、の倍率設定を切り替えられます。

10. 作曲

(パターンの連結)

パターンのコピー

[write] と [pattern] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押すと、現在選択されているパターンが新しいスロットに複製されます。

パターンの消去

[acc] と [pattern] を押すと、現在選択されているパターンが消去されます。

パターンのチェイン

パターンをチェイン (連結) するには、[pattern] を押しながら、連結したいパターンが記録されている1~16のいずれかのキーを押します。最大64個のパターンをチェインできます。1つのパターンを繰り返して選択することも可能です。たとえば、1、1、1、4を打ちすると、パターン1を3回再生してからパターン4を1回再生します。最後のパターンを再生後、シーケンスは初めから繰り返して再生されます。

11. データ

転送データ

受取りユニットは、[receive](受取り)モードにしておいてください。[write+sound] を押し続けてデータを受取りユニットに転送します。

データの受け取り

マイクからデータを受け取った場合: [acc+sound] にエンターしてください。転送ユニットにマイクとスピーカーを置いて転送ユニットからデータを送ってください。

ラインイン端子経由の場合: 転送ユニットから受取りユニットへ3.5mmのケーブルを入れて[acc+sound] を押し、続けて[receive](受取り)モードにエンターしてからデータを転送ユニットから送ってください。

12. 複数のユニットを同期

標準オーディオケーブルを使用して、複数のユニットを接続します。マスターユニットがスレーブユニットのテンポを制御します。マスターユニットの[acc] と [bpm] を握って[sync]モードに切り替えます。画面の右上の端のところに見えるいろいろ違ったモードに切り替えるには繰り返し押してください。マスター・クロック・シンクを待つにはスレーブ・ユニット(主装置の制御によって作動する従属装置)の[play] を押します。マスターの[play] を押してスタートさせます。

同期モード

5つの同期モードがあります。既定モードは「SY0」です。同期を使用したときは、信号はオーディオ信号(右チャンネル)と同期信号(左チャンネル)とに分けられます。

同期のシナリオ

事例 A

チェイン: PO-12 → PO-14 → PO-32
設定: SY1 SY5 SY4

事例 B

チェイン: external → PO-20
設定: volca SY2
iphone
computer
synckontrol

事例 C

チェイン: ext. → PO-20 → PO-16
設定: SY3 SY4

事例 D

チェイン: PO-20 → ext. (分岐ケーブル)
設定: SY1

免責事項

TEENAGE ENGINEERING社は、この製品の精度と信頼性を確保するために当社は、あらゆる適切な対策を講じます。その製品が当社製品であるか第三者サプライヤーのものであっても、製品の販売または使用に関連したいかなる損害に対しても以下の場合を除いては当社は、一切責任を負いません。a) 当社従業員または当社代理人が当社の者として行動して、その結果、過失を犯しお客様が傷害された場合。b) 大過失または故意的な不法行為により直接損失または損害を被られた場合。明示または黙示を問わぬいすべての条件、保証または約束(明示的または黙示的に除外できない条件、保証または約束)特定な目的があるがゆえ満足できる品質および適性のため、除外されたと同様に保証も含めた口頭または書面に認めたもの。